

(2) 河東第二小学校

【むかしの学校（100年ぐらい前）】

河東第二小学校は1873年（明治6年）に、八田野村^{はうしやうじ}法性寺のけいだいをかりて学校にしたのが始まりです。そのときは、八田野小学校と
いいました。そのあと、1879年に^{こわしみず}強清水の^{よきちしたく}山口与吉氏宅をかりて強清
水分校が開かれるなど、むかしはお寺やふつうの家をかりて学校にし
ていました。当時の児童の数は多くありませんでした。このころは、
家の手伝い^{つだ}やお金がかかるとい^{りゆう}う理由で、学問はいらないと考えられ
ていたからです。先生は2人でした。児童は着物すがたで、ふろしき
に勉強道具をつつみ、学校にかよいました。

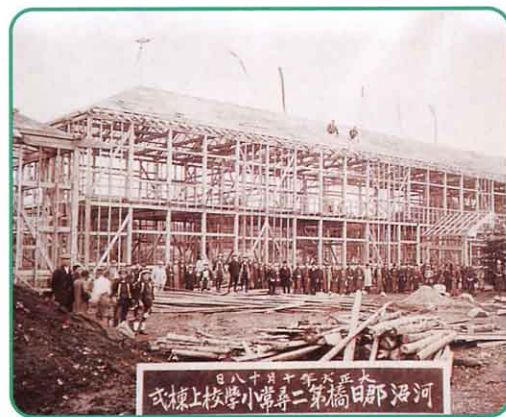
今の場所に学校がうつったのは1889年（明治22年）です。

【おじいさん、おばあさんが子どものころ（80～50年ぐらい前）】

このころは、^{にっぽしだい にじんじょうこうとうしょうがっこう}日橋第二尋常高等小学校から日橋村第二国民学校に、
そして、日橋村立日橋第二小学校と校名があらためられ、校舎^{もくぞう}は木造
2階だてで、小学校と中学校が^{せんそうちゆう}いっしょにあり^{せん}ました。戦争中から戦
^ご後にかけては、子どもの数も多くなりました。



▲ 八田法性寺



▲ 日橋第二尋常小学校全景